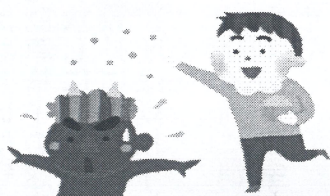


3 March

騰々舎便り



節分



2023/2/3

今年は豆を無駄にしないように、殻付き落花生を投げました。豆まき後、みんなで美味しく頂きました。



社会福祉法人

にうんしゃ
任運社

障がい者支援施設

とうとうしゃ
騰々舎

〒879-6601 大分県豊後大野市緒方町馬場796-1 TEL0974-42-3578 (事務室)

FAX0974-42-4187

TEL0974-42-3579 (寮母室) ※土日祝日はこちらにおかけ下さい。

《E-mail》 toutosha@gold.ocn.ne.jp

《ホームページ》 <http://ninun.or.jp/> ※任運社内では介護職を『寮母』と呼びます

編集・印刷・発行 騰々舎広報研修委員会

自治会通信



【自治会・相談員会議】

令和5年2月20日(月)開催

◆令和3年度自治会活動の総括

①利用者相互の親睦を図り、お互いが気持ちよく生活する為、利用者に意見を促し、必要事項を検討する。

・自治会相談員会議や利用者職員対話会等で、意見を発信する事が出来ました。

②生活面で介護を受けていても、自分達で出来る事は自分達でやる。

・職員と一緒に色々考えて工夫したことで、自分で出来る事が増えました。

③感染症、食中毒予防の為、特に食事前の手洗い、消毒を行う。

・出来ていたと思います。施設内で感染所為が発生しなかったことが、その証明になると思います。

④施設の行事に進んで参加するように呼びかける。

・施設行事の時は、新しい入居者には分からないだろうと思い、行事の内容などを説明し、参加をするよう声をかけました。

・日中活動は内容によっては参加できる人が限られてくるので、積極的に声をかけることは出来ませんでした。

⑤施設内での利用者同士の安全を見守る。

・危険と思われる時は声をかけて、怪我などしないようにしました。私達(役員)が声かけできない時は職員に伝え対応してもらいました。

⑥意思疎通が困難な利用者や寝たきりの利用者へ声掛けを行う。

・ベッドやリクライニング式車椅子で過ごす時

間が多くなった中、Kさんが声をかけてくれた時は嬉しかったです。

◆役員より

・そろそろ自治会長職を降りたいと思います。皆さん積極的に立候補して欲しいです。

(甲斐氏)

・朝の洗顔の水の冷たさが、最近は少し和らいだように感じます。春が近づいていると思います。日によって気温差が大きいので、体調に気を付けましょう。

(羽田野氏)

・役員の皆さん、頑張ってくれてありがとうございます。私は以前のような活動はできませんが、応援しています。

(三浦氏)

◆施設長より

感染症対策会議での変更、決定事項は随時お知らせします。

暖かくなれば、感染症対策をした上での外出行事も実施できると思います。宿泊旅行は実施できるかわかりませんが、宿泊料金の値上げ、外国人旅行者が多い等の理由で恒例だった杉乃井ホテルの利用は難しいでしょう。

3月の行事予定

3日(金)	ひなまつり
13日(月)	ホワイトデー
16日(木)	任運社福祉サービスマネジメント委員会
17日(金)	任運社第3回理事会
27日(月)	利用者・職員対話会
29日(水)	自治会総会

令和4年度委員会年間活動報告

◆広報・研修委員会

利用者・阿南潤喜さん・佐々木栄子さん

職員・麻生みどり・工藤奈々

【活動目標】

①騰々舎便りの定期発行、発送(ご家族、他施設、行政等)

②各種行事の壁新聞を作成する。

③掲載利用者が偏らない配慮をする。

④原稿依頼と締め切りを明確化する。

⑤利用者からの行事の感想等、生の声を吸い上げる。

⑥職員の技術・質の向上を目的とした施設内研修の立案、実施。

⑦広報に関する掲示物の整理整頓を行う。

⑧ご家族への写真発送(不定期)

【年間総括】

・騰々舎便りのホームページ掲載が一部しか出来なかった。

・掲示板を設置し、騰々舎便りを掲示する事が出来た。

・壁新聞(写真)が作成出来なかった。

・ご家族への写真発送が出来なかった。

・施設内研修は施設長、寮母主任による立案であったが、リーダーや委員会が企画し実施する事が出来た。

【引継ぎ事項】

・家族への写真発送(年3回程)

・ホームページ掲載手順の習得。

◆喀痰・吸引委員会

利用者・小堀眞義さん・是石浩之さん

職員・穴見和枝・村山和美

【活動目標】

①必要物品を揃え、衛生面について常にチェックを行い管理していく。

②喀痰・吸引を安全かつ適正に実施するにあたり、医師・看護・寮母の連携はもとより、他職種とも連携、協働していく。

③喀痰・吸引について、指導の徹底や研修会を定期的に行う。

④吸引が必要な利用者が増えてきているので、各利用者の状態把握を常に行う。

【年間総括】

・必要物品の補充、点検は随時実施した。

・吸引に対して自信のない職員の把握、及び有資格者のフォローアップ、施設内研修に取り組みなかった。

【引継ぎ事項】

・施設内研修、個別指導、フォローアップの実施。

◆行事委員会

利用者・井上裕美さん・工藤里美さん

職員・伊東史生・工藤睦美・藤澤弘子

【活動目標】

①新型コロナウイルスと向き合いながらの行事の運営。

②食事面の支援強化。(食欲低下の利用者が増えている為)

③行事や食事等の物品の整理、収納の見直し。

【年間総括】

・今年こそはと期待していた宿泊旅行が新型コロナウイルスの感染拡大で中止となりました。そんな中、阿蘇や久住へのバスハイクを実施出来たこと、また、段ボールで制作した手作り鳥居で、神社に初詣に行った気分になったことは良かったです。

【引継ぎ事項】

・行事の企画や準備等早めに取り掛かること。

◆褥瘡対策委員会

職員・恵藤麻衣・内藤千春・橋守美穂子

【活動目標】

褥瘡のある利用者や褥瘡既往歴のある利用者に対して、適した福祉用具を使用し、新たな褥瘡を作らないよう予防に努める。

【年間総括】

・表皮剥離や裂傷などの傷の発生は見られたものの、早期治療にて褥瘡に発展する事はなかった。

【引継ぎ事項】

・褥瘡予防として、統一した対応(介護、治療等)を行う。

◆感染症対策委員会

利用者・赤峰満明さん・羽田野律子さん

職員・井野淳子・金丸竜也・首藤須賀子

田上文字

【活動目標】

①新型コロナウイルス、ノロウイルス、インフルエンザ等の感染症を施設に持ち込まないよう、防止対策の徹底。(一介助・一手洗い、居室消毒の実行)

②倉庫内の備品のチェック、補充。物品の消費量の把握。

③害虫駆除の実施。

【年間総括】

・今年度も新型コロナウイルスが猛威を振るったが、幸いにも施設内での感染はゼロであった。職員数名が罹患するも、入居者に感染しなかった事は、日頃の防疫対策が適切に実施出来ている証と考えられる。

・発注の引継ぎや連絡等の連携が職員間で出来ていなかった。

【引継ぎ事項】

・新型コロナウイルスが5類感染症に変更されるが、引き続き感染対策は徹底して欲しい。

◆事故対策委員会

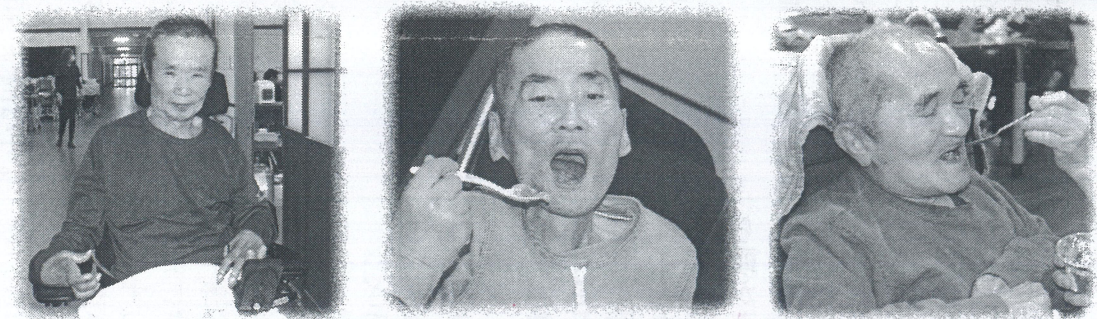
利用者・井清實さん・羽田野俊則さん

職員・阿南純一・児玉寛子・永井貴之



2月13日(月)午後、自治会主催のバレンタイン行事が行われました。会では最初に廣本理事長、橋本総合副施設長、吉田施設長へ入居者の方からチョコレートが贈られ、皆さんより「ありがとうございます。ホワイトデーを楽しみに待っています。」とお礼の言葉がありました。

その後、各自で選んだケーキをコーヒーと共に美味しくいただきました。



星野裕希子

【活動目標】

①事故やヒヤリハットの報告書の検討会議を毎月開催する。

②事故報告よりデータ集計と分析を行う。

【年間総括】

令和4年4月～令和5年2月末までの事故報告書総数は59件。その内21件が転倒事故であった。センサーマット未設置のトイレでの発生が多かった。※トイレでも使用可能なセンサーを導入予定。

毎月、委員会会議録を掲示し目を通してもらう事で、職員全体に周知できたのではないかと考える。

【引継ぎ事項】

・事故報告に比べ、ヒヤリハット報告数が12件と少なく、どうすれば報告しやすい環境になるかが課題。

◆防災対策委員会

利用者：吉良憲次さん・藤田清隆さん
職員：平山晶大

【活動目標】

①避難訓練の実施。

②防災用品の点検、検査を行う。

③年2回消防署立会いによる防災訓練の実施。(コロナの状況を加味しながら)

【年間総括】

・コロナ禍という事もあり、思うように避難訓練が実施出来なかった。

・緊急時用バッテリーは毎月充電を行った。

【引継ぎ事項】

・新型コロナウイルスが5類感染症に変更されるが、引き続き感染対策は徹底して欲しい

◆拘束・虐待防止委員会
利用者：阿南克哉さん・甲斐修さん

職員：佐藤保子・白石宏憲・山村徹

【活動目標】

①利用者生活満足度調査を年2回行う。

②やむを得ず身体拘束が必要とされる利用者については、その内容と期間について三か月毎に身元引受人に説明、同意を頂いてから実施する。またその経過報告と見直しを定期的に行う。

③拘束廃止に向けての取り組みを行う。

サービスマン提供にあたり、拘束の三原則(緊急性・非代替性・一時性)に則り、利用者自身または他の利用者の生命に関わることで、または身体を保護するため、緊急やむを得ない場合を除き身体拘束は行わない。

《緊急やむを得ない場合》

・自傷行為が極めて著しく、身体の安全を脅かす恐れのある場合。

・自殺行為を行う可能性が予想される場合。

・異常興奮、暴力行為が極めて著しく、通常の対応では利用者の身体の安全が損なわれる状態が高い場合。

④職員への啓蒙を行い、拘束・虐待(言葉によるものも含む)未然に防ぐよう努める。

【年間総括】

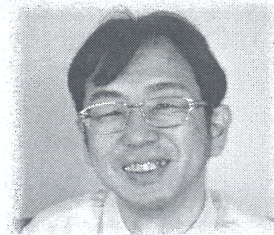
・虐待防止への取り組みとして入居者満足度調査を行い、結果を職員会議にて伝え、研修を2回実施した。

・拘束の検討を3ヵ月毎に行った。検討するにあたって、拘束を目的としている物とそうでない物(姿勢保持目的のベルト等)がわかりやすいように、目的を明確にした一覧を作り周知につなげる取り組みを行った。

【引継ぎ事項】

・入居者満足度調査を今後も活用して、入居者への対応の改善に役立てて欲しい。

3月の誕生者



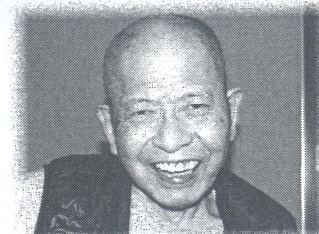
宮川和信さん 50歳

チラシで作る紙箱は
とても丁寧で、几帳
面さがうかがえます。



山内干城さん 52歳

コロナが落ち着けば、
お母様との面会を計
画したいと思います！



矢野 弘之さん (67歳)

2月10日に入居されました。
食べる事が大好きな矢野さん。
入居してすぐにバレンタイン
茶話会があり、とても嬉しそ
うでした！

新入居者紹介

新型コロナウイルス対策に伴う 面会制限について

現在、騰々舎では**窓越し面会のみ実施**しております。
当法人におきましても、感染者を出さぬよう職員一同感染対策に取り組んでおります。ご家族の皆様にはご心配とご迷惑をお掛け致しますが、入居者の皆様の命を守る為の対策ですので、ご理解とご協力の程宜しくお願い致します。

面会について

面会者…窓越し面会の為、ワクチン接種の有無は問いません。
人数制限もありません。

面会場所…旧騰々舎食堂前のテラス（新舎屋へは入れません）
面会時間…面会時間は20分以内とします。

予約制とさせていただきます。

事前に電話にてご予約をお願い致します。

【平日】事務室 0974-42-3578

【土・日・祝日】貸母室 0974-42-3579

任運社福祉サービス相談委員会

2月16日（木）に開催。①ベッドからの転落②足の爪の剥離③薬の飲みこぼし、以上3件が報告されました。

今後の対応としては、①介助後はベッドの高さを低床にする、シーツを外した際は速やかに新しいシーツをセットする②離床時は必ず事前に靴下を着用する、爪切りの徹底③投薬介助時は全てのみ込んだか口腔内を確認する事を申し合わせました。

今回は3月16日（木）に開催されます。

（サービス管理責任者

工藤奈々）

委員会報告

★防災対策委員会

・コロナの県内感染も減少してきたので、避難訓練を再開予定です。

★事故対策委員会

・同じような事故やヒヤリハットを繰り返さないよう、予防と対策の周知徹底を行います。

★喀痰・吸引委員会

・痰が絡みやすい方が増えていきます。急な使用にも対応できるように、吸引器や物品等を備えています。

★行事委員会

・寒い時期は戸外散歩ができなかったため、暖かくなったら戸外散歩をし、桜の開花を楽しんでもらえればと思います。

★感染症対策委員会

・感染者数は減少していますが、施設や医療機関でのクラスターは毎日の様に報告されています。気を緩めることなく、今後も感染防止対策に努めます。

★拘束・虐待防止委員会

・身体拘束されている方の心身状況の変化などをふまえ、はずす事ができないか検討を行いました。

★褥瘡対策委員会

・傷の発生予防に保湿剤を使用しています。効果が高いので継続して使用していきます。

★広報・研修委員会

・新年度になりましたら、入居者皆さんの写真をご家族の方へ送付予定です。

騰々任運

2ヶ月ほど前、娘が手術入院することになりました。

妻は発熱し床に臥せており、コロナ禍の為、発熱者の同伴は認められず、私が連れて行くことになりました。

手術に至るまで何年も検査に行き付き添っていたのは妻だったので、突然本番が私に回って来た事に些か動揺したのを覚えています。

いざ手術室手前まで付き添い、送り出す自分は所在なく見送るだけでした。

術後、病室にベッドごと運ばれ、麻酔が覚めるまでの時間がとても長く感じられました。麻酔が覚め、話せた時の安堵は忘れられません。こんな思いを入居者ごとご家族は何度と経験してきたことに、心から頭が下がります。親が子を思う気持ちの強さをこの仕事ではとても強く感じる事が多く、当然と思います。

施設の方針や介護の限界を超えた対応には、期待に応えることができない時もあります。出来る限りの対応はしていきます。

（施設長 吉田 大）

